

新編

三國

人名

集

卷

八

完

完

911.3

八



古来庵存義遺稿
龍鱗庵素月訂補
高井蘭山父校正

原本

俳諧

種卸

文化第九壬申大簇發刊

增補二國人名牒

全

東都書肆青藜閣梓行



俳諧
種卸 增補三國人名牒



嚮^{いさ}刊^{かん}行^{かう}多^た於^お種^{しゆ}卸^{かろ}ハ釣^{つり}月^{りつ}堂^{どう}一^{いち}漁^{りしよ}宗^{しゆ}匠^{じやう}
の^の著^あ不^ふ形^か手^て抄^{しやう}の^の中^{ちゆう}に^に俳^{はい}用^{よう}の^の人^{にん}物^{ぶつ}以^も
我^{われ}と^とい^いハ^ハ如^{ごと}く^く毛^{もう}車^{くるま}其^{その}撰^{せん}に^にあ^あら^らは^はす^す
是^{こゝ}原^{げん}より^{より}も^もの^の奥^{おく}の^の奥^{おく}に^に有^ある^る茶^あの^の葉^は
存^{ぞん}義^ぎ宗^{しゆ}匠^{じやう}書^{しよ}得^{とく}至^{いた}ま^ま龍^{りゆう}鱗^{りん}庵^{あん}素^そ月^{げつ}
宗^{しゆ}匠^{じやう}子^こ傳^{でん}一^{いち}小^{せう}冊^{さく}あり^り世^よ二^に子^こも^も已^おひ^ひ子^こ

泉下の賓も行くバ素月子は甥を不
蘭山先生子校正紙需を彼是紅合
とくま非諧人名撰と歎く一壽梓
此功紙畢如

文化九壬申年

孟春

星運堂識

俳諧人名帳

凡例

○此書専ら俳用の人物紙集る故日本唐去天竺男女俗格貴族は拘む
そ名紙集る紙採採仍く賢愚紙差別也
○神と云も目の上古の人紙と云も印度いかに一人也と云も俳道は神紙乃
同紙と云も俳諧諸君も向より神紙と云も倫と云も之を神紙と云も
天海宮も神と云も宗と云も人の字名もて自ら素盞鳴彦丞相といハ人
倫紙道も紙道も素盞太子ハ人倫紙也又孔子ハ人倫と云も神紙の向
紙と云も神紙紙と云も神紙の變化也人倫紙道も神紙と云も神紙紙の向
人物と云も俳道の定式も云も素盞鳴彦也
○英人の字も云も長通飛小野小町李夫人揚貴地の紙名也と云も

伊波仁彌 貞准 棟字原 依
門人高 室中 波松
古皇子先せと謚

伊波左津 仁彌の長子名
長瀬 室中 波松
繼々彌上白義堂と稱す 座末
室中 世小 波松 室中 波松

中波松 紹遠 先生と謚
時兄弟をて 傷名あり
伊波坦庵 在室中 波松
伊波坦庵 在室中 波松

伊波三郎 親平と稱 藤原の
親別力を政 後及
伊波三郎 親平と稱 藤原の
親別力を政 後及

伊波鹿 藤我蝦美の男 政後
伊波鹿 藤我蝦美の男 政後
伊波鹿 藤我蝦美の男 政後

入江若水 権平と稱 藤原の
権平と稱 藤原の
権平と稱 藤原の

入江東阿 平馬と稱 藤原の
平馬と稱 藤原の
平馬と稱 藤原の

磯前司 権平と稱 藤原の
権平と稱 藤原の
権平と稱 藤原の

今井義元 治と稱 藤原の
治と稱 藤原の
治と稱 藤原の

今井宗閣 書城
書城
書城

今井宗久 宗薫と稱 藤原の
宗薫と稱 藤原の
宗薫と稱 藤原の

今大路道三 信連院 翠
三竹庵と号 仁
御子の名
右 藤原の

今西正之 陽甫 白野と号
拾石の人の
名 藤原の

池澤道雲 名 景春 一峯
号 景春 一峯
号 景春 一峯

石川良子 宇多帝の令婦
宇多帝の令婦
宇多帝の令婦

石山師香 卿と号 基起
卿と号 基起
卿と号 基起

石川五右衛門 天下の大徳者
天下の大徳者
天下の大徳者

石川大山 名 四字 坊
名 四字 坊
名 四字 坊

石川柏山 名 依虫 一流
名 依虫 一流
名 依虫 一流

飯尾常氏 宗慶 門人
宗慶 門人
宗慶 門人

飯田百川 流を立
流を立
流を立

指若水 名 宣義 大彰 信
名 宣義 大彰 信
名 宣義 大彰 信

五十嵐俊明 方徳 吳
法一家 安永 天明
の比をなすなり

一品 芳安 氏 仙林
名 芳安 氏 仙林
名 芳安 氏 仙林

移竹 田川氏 堀 東川
名 田川氏 堀 東川
名 田川氏 堀 東川

井手丸大臣 協法 凡そ 宗
名 丸大臣 協法 凡そ 宗
名 丸大臣 協法 凡そ 宗

井筒前 名 業平 知 宗
名 業平 知 宗
名 業平 知 宗

井上養白 名 友と号 藤原の
名 友と号 藤原の
名 友と号 藤原の

井澤長秀 七郎 藤原の
七郎 藤原の
七郎 藤原の

世 拙 南 藤原の
名 拙 南 藤原の
名 拙 南 藤原の

維舟 名 松江 氏 藤原の
名 松江 氏 藤原の
名 松江 氏 藤原の

一遍上人 河野 通 藤原の
名 河野 通 藤原の
名 河野 通 藤原の

一休 名 狂雲 子と号 藤原の
名 狂雲 子と号 藤原の
名 狂雲 子と号 藤原の

一山 名 一寧 宋の僧 安
名 一寧 宋の僧 安
名 一寧 宋の僧 安

柏岩 名ハ此府美穂
の石を名に

泊如 名ハ運徹智積院の傍
碩徳のたまり

芳庭 名ハ法京天竜
流のまじ

萬仞 大徳流の
碩学

盤珪 名ハ永琢乃者元の
法嗣を体社を

馬合 名ハ北原如々山人と号
美穂の傍画法一流

秋坊 名ハ兼国と号上号
又志高坊と称松花堂

又の才ひて画を能
ぬるものなり

漢 伯夷叔齊 孤竹の君の二
人の子兄弟

賢くして周武王殷を伐を誅
後首陽采薇を採て食し
竟小餓
死せり

百里奚 虞国の大夫君を
道する者

小食我をて世に名を揚公を
賢くして相とす

分 且 帝顓頊の玄孫姓ハ錢
壹 且 名ハ謹周の世ハ百歳と
す

壹 且 名ハ穆王大木とせん
は

樊須 字ハ子遲
孔子の弟子

樊噲 漢の祖の四世太公の
孫

樊 須 字ハ子遲
孔子の弟子

天の乃とて齊に往陶朱公云

范祖禹 字ハ淳夫宋の儒
者

范純仁 字ハ堯夫胡安
定の弟

范禎 字ハ心庵和陽仙と号
法相書を著す

馬氏 大玄宗の事夫の貧く
老を厭ひ去てのち

大をを齊の君とす再
書ふんとす覆水盆を復す

自盛と死に
終にけい懐て

馬援 字ハ文淵漢の
将軍

馬融 字ハ季長後漢の人
忠節を著す

馬良 字ハ子長
州の画友

馬宋英 字ハ子長
の画友

班婕妤 漢成帝の嬪妃
賢くして

梅妃 唐高宗の楊妃と号
詔を乞はる

梅堯臣 字ハ聖俞
宋の文豪

白樂天 名ハ居易唐の詩人
晩年仙を修す

龐居士 名ハ法蘊字ハ道元唐の
時石印和尚參天隱

萬將軍 元日本と號す時
大風起て大軍中

非衣叔孫 字ハ徒遊魏の儒士
号はのち

潘秉衡 字ハ誼老漢の浙に
の人名を著す

方西園 字ハ子明の人
画を著す

宝誌 南宋の禪師俗世を著
の文ハ唐の次存とす

馬祖 俗像を火に投せし
大徳の禪師

抱石 名ハ勛字ハ玄谷
石と号明の儒者

跋摩三藏 天竺の八咸愛佛
の弟子

跋陀羅 跋陀羅の者
の弟子

跋陀羅 跋陀羅の者
の弟子

跋陀羅 跋陀羅の者
の弟子

半諾 跋陀羅の者
の弟子

伐那婆斯 跋陀羅の者
の弟子

二 之部

瓊々梓子 地神の
名

仁徳天皇 天智帝の皇子
十七代の帝也

聖王 天智

二條禪院 後醍醐天皇
平家の男と號す

二位尼 平家重盛の母
持統天皇

二階堂行 二階堂の
名

仁 戒了 紀伊の僧
名

女 二宮 女二の宮
名

白 雲 部 白雲の部
名

西 木 大 舟 西木の舟
名

戦の時和田家島山

西室儀中 甲斐の洞支那本

西村方石 京の人相の比

西川水城齋 長谷の氏

天文曆教

西川祐信 自得齋と号す

新田義貞 位下中於建武

新田美我 佐延文永年十月

新田義貞 位下中於建武

日東 祖加南經の

日田 名ハ利博系福徳の

日峯 名ハ法如天竜寺の信

仁由 名ハ宗清大住持秀の

仁濟 名ハ宗忠法親王の

西宮信正 名ハ公頼安徳の

日南 名ハ昇日如の

火闌降 又火酢折小也

木之部

本因系 名ハ平記の

本因長光 名ハ長光の

本因若助 名ハ若助の

本因経 名ハ経の

本因坊 名ハ坊の

本因系 名ハ系の

本因坊 名ハ坊の

本因系 名ハ系の

本因坊 名ハ坊の

本因系 名ハ系の

又陶器を割る中焼と

本自政辰 名ハ辰の

北條時政 名ハ時政の

北條義時 名ハ義時の

北條春時 名ハ春時の

北條時頼 名ハ時頼の

北條時義 名ハ時義の

北條時頼 名ハ時頼の

細川道元 道元は名法名常流
細川幽齋 幽齋は名法名常流
細川三齋 三齋は名法名常流

細川三齋 戦中も忠貞
細川三齋 二任肥後隈本

細井廣澤 名は知徳
細井廣澤 謙王 權林庵

細井平沙 名は徳民
細井平沙 世襲

細井平沙 名は徳民
細井平沙 世襲

牡丹花 牡丹は名法名常流
牡丹花 牡丹は名法名常流

北枝 名は知徳
北枝 謙王 權林庵

菅提督 菅提督は名法名常流
菅提督 菅提督は名法名常流

豊蔵房 名は知徳
豊蔵房 謙王 權林庵

松尾の孫 松尾の孫は名法名常流
松尾の孫 松尾の孫は名法名常流

豊道生 名は知徳
豊道生 謙王 權林庵

鳳翔 名は知徳
鳳翔 謙王 權林庵

弗多羅 名は知徳
弗多羅 謙王 權林庵

之部 之部は名法名常流
之部 之部は名法名常流

平親王 平親王は名法名常流
平親王 平親王は名法名常流

平相 平相は名法名常流
平相 平相は名法名常流

辨慶 辨慶は名法名常流
辨慶 辨慶は名法名常流

辨村 辨村は名法名常流
辨村 辨村は名法名常流

辨圓 名は知徳
辨圓 謙王 權林庵

遍昭 名は知徳
遍昭 謙王 權林庵

平野 名は知徳
平野 謙王 權林庵

下和 名は知徳
下和 謙王 權林庵

平原君 名は知徳
平原君 謙王 權林庵

宋元章 名は知徳
宋元章 謙王 權林庵

宋萬鍾 名は知徳
宋萬鍾 謙王 權林庵

邊景昭 名は知徳
邊景昭 謙王 權林庵

豐對淳 名は知徳
豐對淳 謙王 權林庵

ホ

ホ

ホ

十

豊石容命 奇石容命と俱、太玉令の子とす

門をもちの今の
矢大臣也

舎臥親王 天武帝の白子也

後伊周公 中美白の男、同三司の官の臣人

後篤茂 大内記

後惟成 元中兵衛村の男、後の推政と稱、推遺の撰者

後文麗 從五位下、加賀守、八代名公、春坊、後齋と号す

豊石の此画也

後益道 書也

都良香 計政貞継の男、此書、如文、書、博士

敏行 按察使、富吉丸の男、此書、少將、敏人

俊頼 大内記、後、佐々木の男、九条大夫、高人

友則 大内記、七、権者の内、此書、此書、此書、此書

知盛 平治、延喜の男、此書、此書、此書、此書

知章 平治、延喜の男、此書、此書、此書、此書

内給 仲三、仲三、仲三、仲三、仲三、仲三、仲三、仲三

常陸 常陸、常陸、常陸、常陸、常陸、常陸、常陸、常陸

時致 河津三、河津三、河津三、河津三、河津三、河津三、河津三、河津三

仇工 仇工、仇工、仇工、仇工、仇工、仇工、仇工、仇工

富撰 富撰、富撰、富撰、富撰、富撰、富撰、富撰、富撰

安宅 安宅、安宅、安宅、安宅、安宅、安宅、安宅、安宅

東河 東河、東河、東河、東河、東河、東河、東河、東河

富永芳春 道明寺、屋吉、集、川人、古風の、和、三、三、三、三、三、三、三、三

飯袋、飯袋、飯袋、飯袋、飯袋、飯袋、飯袋、飯袋

豊臣秀吉 尾州の人、流、河、古、九、本、下、有、有、有、有、有、有、有、有

御、御、御、御、御、御、御、御、御、御、御、御、御、御

德大寺公胤 公胤、公胤、公胤、公胤、公胤、公胤、公胤、公胤

大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、大

土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土

東野州 東野州、東野州、東野州、東野州、東野州、東野州、東野州、東野州

東亨 東亨、東亨、東亨、東亨、東亨、東亨、東亨、東亨

東江 東江、東江、東江、東江、東江、東江、東江、東江

十市 十市、十市、十市、十市、十市、十市、十市、十市

鳥、鳥、鳥、鳥、鳥、鳥、鳥、鳥、鳥、鳥、鳥、鳥、鳥、鳥

氏、氏、氏、氏、氏、氏、氏、氏、氏、氏、氏、氏、氏、氏

等、等、等、等、等、等、等、等、等、等、等、等、等、等

等、等、等、等、等、等、等、等、等、等、等、等、等、等

等、等、等、等、等、等、等、等、等、等、等、等、等、等

德、德、德、德、德、德、德、德、德、德、德、德、德、德

土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土、土

鳥、鳥、鳥、鳥、鳥、鳥、鳥、鳥、鳥、鳥、鳥、鳥、鳥、鳥

頃、頃、頃、頃、頃、頃、頃、頃、頃、頃、頃、頃、頃、頃

東、東、東、東、東、東、東、東、東、東、東、東、東、東

特、特、特、特、特、特、特、特、特、特、特、特、特、特

獨、獨、獨、獨、獨、獨、獨、獨、獨、獨、獨、獨、獨、獨

長、長、長、長、長、長、長、長、長、長、長、長、長、長

長、長、長、長、長、長、長、長、長、長、長、長、長、長

ト

ト

ト

ト

日本書紀
日かふ化一を量

千庵 名大緑初本福吉後天
高寺小松永會中寂願字

千寂 名良九遠良の人春屋
の法嗣州入後を憶と云

椿庭 名海壽遠良の人直釋
胤のそと法氣永八手向

定山 名祖林お良の人南福胤
のそと法氣安中寂

癡兀 名大惠初お良の人
聖一お徒ひ願をとり

知月 名寛平四年十月
廿九日寂七十八

知泉 名法のお子あて
松尾のそと山

智月 名孫孫承治乙州の母
のそと大細松のそと名

文草 大伴流一信
仙のそと名

仲弓 姓丹名は雍孔川
住河城孫と云

張儀 名宏文七世の時
依彦おまをとり

張良 名太子房太らそを法
をひて漢王の所をひ

張博 名松子の遊此を三男をそと
名書漢武帝の時

張博 名天河小至牛サ二星見
守短方小まをひ

張中景 名機漢の長沙の太
守短方小まをひ

張飛 名大聖德挑抜の我を法
蜀のそと徳法挑抜高をひ

張果 名唐玄宗通をそと林
中お紙張出せ也

張芝 名伯英漢の筆蹟よ
書城そとひ出草の果を

張路 名山と号
州の画家

張旭 名伯高そと書法高
顔志た本ま太白につふ

張衡 名平子後漢の時社孫お
通一能文を属ひ又天文

張文成 名法唐の世
音法そとまをひ

張華 名茂先晋の世
持物志をそと

張子厚 名載撰集先を稱
年相の大儒

張南軒 名絳字敬夫朱文
公居祖孫を合乾源

張鏞 名定司化家訓
書法そと

張友正 名のそと
字のそと

張即之 名温夫
字のそと

張乾 名涪南孟齋と号
字のそと

張天錫 名元のそと
字のそと

張鳳翼 名伯起
字のそと

張晟 名德齋
字のそと

張瑞圖 名無尺二水と
号のそと

張靈 名夢晉
字のそと

張漁 名文甫雲心
と号のそと

張龍章 名明初の
字のそと

張路 名山と号
州の画家

張豫章 名文奇亭
字のそと

張士甄 名謙紫
字のそと

張公俊 名立川と号
字のそと

張南旦 名相の
字のそと

張御來 名篤六通圃と号
字のそと

張穆 名鉄橋乃人と号
字のそと

張適 名雀氏
字のそと

張璐 名路五石頑と号
字のそと

陳平 名孺子漢高祖
の功臣

陳思王 名曹名植字子建
魏文帝の三子天下の

文章一石すて八斗得り
又七歩のそと孫と云

陳子昂 名伯玉唐
の詩人

陳堯佐 名希元
字のそと

陳知柔 名休二休高居士
と号天公山お在て安

陳繼儒 名仲醇眉公と号
明初書法をそと

陳獻章 名公甫白沙先生
と号明初の後家

陳淳 名道復白陽と号
字のそと

陳洪綬 名章侯名在と
号のそと

陳公甫 名村希と号
州の画家

陳子利 名仙と号
州の画家

陳少逸 名少和
字のそと

陳少逸 名少和
字のそと

龍猛菩薩 南天竺王の太子

龍智菩薩 南天竺の太子

龍樹大師 西天竺の人

又無之部

小倉三省 名を克定改義

岡部六弥太 太洗と稱

岡西惟中 一時の号

岡本半助 改義

岡元震 石圃と号

岡龍淵 名を白鶴

岡島冠山 名を珠

岡島明教 名を彦

岡中抱子 名を彦

尾舟乾山 名を光琳

絶方寛仁の長者
元人伝説も

大伴黒主オホトモノシロシ 小井戸町と小倉河

大伴真鳥オホトモノマコ 下り

大久保忠教オホクボタカキ 志茂馬と藤武切
オホクボタカキの幕府士

大磯七尾オホイソナナ 志茂馬の遊女と我
十市法成親むね

大内義隆オホウチノヨシタカ 志茂馬の遊女と我
門守七羽の志茂

大内熊目オホウチノクマメ 志茂馬の遊女と我
志茂馬と藤南郡人

大恩春オホオンハル 志茂馬の遊女と我
志茂馬の遊女と我

大西醉月オホセシヅキ 志茂馬の遊女と我
志茂馬の遊女と我

大野敦素オホノトシホ 志茂馬の遊女と我
志茂馬の遊女と我

大森玉オホモリタマ 志茂馬の遊女と我
志茂馬の遊女と我

大鹽教オホシホノタカ 志茂馬の遊女と我
志茂馬の遊女と我

大技流オホテリウ 志茂馬の遊女と我
志茂馬の遊女と我

大石道教オホイシノミチノタカ 志茂馬の遊女と我
志茂馬の遊女と我

大石良雄オホイシノヨシヲ 志茂馬の遊女と我
志茂馬の遊女と我

大高重オホタカシゲ 志茂馬の遊女と我
志茂馬の遊女と我

大橋守政オホハシノモリノサダ 志茂馬の遊女と我
志茂馬の遊女と我

大橋宗桂オホハシノムネノキ 志茂馬の遊女と我
志茂馬の遊女と我

大橋宗桂オホハシノムネノキ 志茂馬の遊女と我
志茂馬の遊女と我

大橋宗桂オホハシノムネノキ 志茂馬の遊女と我
志茂馬の遊女と我

大橋宗桂オホハシノムネノキ 志茂馬の遊女と我
志茂馬の遊女と我

将棊の
名人

大橋宗古オホハシノムネノキ 宗桂の男と小姓
お棊の名人

大橋オホハシ 志茂馬の遊女と我
志茂馬の遊女と我

大田道灌オホタノミチノカン 志茂馬の遊女と我
志茂馬の遊女と我

漢鳥獲カンニワウケ 志茂馬の遊女と我
志茂馬の遊女と我

温庭筠オンテイユン 志茂馬の遊女と我
志茂馬の遊女と我

歐陽修オウヤウシウ 志茂馬の遊女と我
志茂馬の遊女と我

之部

王仁オウニ 志茂馬の遊女と我
志茂馬の遊女と我

和氣清磨ワケキキヨモリ 志茂馬の遊女と我
志茂馬の遊女と我

三好 三好 三好 三好

漢 王倪 字君明 東王公 子号

王子高 晋好 字を以て他例

王子高 晋好 字を以て他例

王子高 晋好 字を以て他例

王質 石室山 本を伐仙人の

王陵 母を殺す者なり

王莽 漢の天下 莽篡位 帝位

王昭君 漢元帝の文姫 匈奴

王充 字仲子 後漢の人

王肅 字子雍 魏の人

王弼 字叔嗣 魏の人

王祥 字太叔 魏の人

王戎 字太叔 魏の人

王羲之 字逸少 晋の人

王戎 字太叔 魏の人

王子猷 羲之の子 名徽 之風

王獻之 羲之の弟 子 子 子

王通 隋の時 文 文 文

王冰 啓天子 号 唐 唐 唐

王維 字 唐 唐 唐

王昌齡 唐 唐 唐

王勃 字 唐 唐 唐

王安石 字 唐 唐 唐

王柏 字 唐 唐 唐

王應麟 字 唐 唐 唐

王幼學 字 唐 唐 唐

王安中 字 唐 唐 唐

王都中 字 唐 唐 唐

王淵 字 唐 唐 唐

王陽明 字 唐 唐 唐

王穉登 字 唐 唐 唐

王世貞 字 唐 唐 唐

王世懋 字 唐 唐 唐

王寵 字 唐 唐 唐

王穀祥 字 唐 唐 唐

王穀祥 字 唐 唐 唐

王立 字 唐 唐 唐

王乾 字 唐 唐 唐

王世祥 字 唐 唐 唐

王武 字 唐 唐 唐

王緒祖 字 唐 唐 唐

王毓賢 字 唐 唐 唐

王清叔 字 唐 唐 唐

王士禛 字 唐 唐 唐

王任治 字 唐 唐 唐

王震 字 唐 唐 唐

王從 字 唐 唐 唐

王揚烈 字 唐 唐 唐

王遠昌 字 唐 唐 唐

王蘆泐 字 唐 唐 唐

汪克寬 字 唐 唐 唐

汪道昆 字 唐 唐 唐

汪肇 字 唐 唐 唐

汪晉徵 字 唐 唐 唐

汪鵬 字 唐 唐 唐

汪旭 字 唐 唐 唐

汪通武 字 唐 唐 唐

力之部

韓忠彦 宋徽宗の賢相

韓偓 唐末の詩人、後梁を執

韓承 月胡の画家

漢高祖 楚の項羽と天下を争ひ、漢の初代皇帝

漢武帝 武帝の世の武帝

樂毅 趙の軍師、望諸君

樂正子 魯の孟子の子

苜蓿 漢の鄭玄

抱朴子 著者

苜由仙人 未詳

何晏 魏の玄学家

何承天 元嘉の学者

何壽餘 号 梁 梁 梁

何中 元の画家

何高福 明の画家

何景明 明の文豪

耳石 名 德 齊 人

岳飛 宋の良臣、大將、岳陽

賀正 唐の詩人

賀正 唐の詩人

賀正 唐の詩人

賀知章 唐の詩人、狂

賈誼 漢文帝の時、長沙王の太

賈島 唐の詩人、詩僧

文宗の世

和九思 唐の詩人

康里巎巎 元の書家

何天碧 元の画家

赤敬 唐の詩人

蝦蟇仙 唐の詩人

散聖 二人の名

唐太宗の詩人

戒賢 唐の僧人

角三 名 戒 三

可一 名 照 遠 寄 山 寺 号

加旃延 唐の僧人

加諾 唐の詩人

迦哩 唐の詩人

用明天皇 敏達帝の皇子

用明天皇 敏達帝の皇子

用明天皇 敏達帝の皇子

用明天皇 敏達帝の皇子

良岑 唐の詩人

良岑 唐の詩人

好忠 唐の詩人

能宣 唐の詩人

義孝 唐の詩人

義家 唐の詩人

義経 唐の詩人

カ

カヨ

ヨ

世二

の田豆別大権

二條大権

齊名 中田田口源紀世史

忠孝 左大臣藤原光成の男

忠見 忠孝の男藤原清隆

忠度 平清盛の男藤原

高光 左大臣藤原光成の男

高見 左大臣藤原光成の男

玉藻前 中清院の女御藤原

玉置香高直 江府の史官

玉井持軒 名高守任加助

探進 持身身伝

大祇 夜夜庵

問水 小室氏白眼居士

春登 女の人故智

権助 藤原

大椿 名は用字の御流の
言は

大方 名は用字の御流の
言は

大進 名は用字の御流の
言は

大象 名は用字の御流の
言は

大林 名は用字の御流の
言は

大模 名は用字の御流の
言は

大心 名は用字の御流の
言は

大原 名は用字の御流の
言は

大眉 名は用字の御流の
言は

大鵬 名は用字の御流の
言は

大成 名は用字の御流の
言は

澤庵 名は用字の御流の
言は

彰 名は用字の御流の
言は

蘇姐已 名は用字の御流の
言は

の舊 名は用字の御流の
言は

大心 名は用字の御流の
言は

を瑞 名は用字の御流の
言は

隆朱公 越の范蠡の
名は用字の御流の
言は

陶淵明 名は用字の御流の
言は

陶鎔 名は用字の御流の
言は

陶宗儀 名は用字の御流の
言は

陶宗儀 名は用字の御流の
言は

戴德 名は用字の御流の
言は

戴聖 名は用字の御流の
言は

戴安道 名は用字の御流の
言は

戴目 名は用字の御流の
言は

戴淳 名は用字の御流の
言は

戴文進 名は用字の御流の
言は

戴明説 名は用字の御流の
言は

唐世美 名は用字の御流の
言は

唐寅 名は用字の御流の
言は

湯煥 名は用字の御流の
言は

段成式 名は用字の御流の
言は

脱 名は用字の御流の
言は

宋史 名は用字の御流の
言は

卓宗 名は用字の御流の
言は

道融 名は用字の御流の
言は

道空 名は用字の御流の
言は

道空 名は用字の御流の
言は

道空 名は用字の御流の
言は

道空 名は用字の御流の
言は

道信 唐太宗の御流の
言は

之部

西廬 名は用字の御流の
言は

冷泉 名は用字の御流の
言は

令德 名は用字の御流の
言は

蓮生 名は用字の御流の
言は

蓮光院 名は用字の御流の
言は

靈源 有海脈黃髮流の
碩徳と云ふ

了庵 名桂格有得流のを法
又元相の傳を同名あり

名法欽南堂遺老と稱し
書法者なり

漢 列子 名御景好乃御景好
風子余虚堂以行唐

の時冲虚真人と諡
先莊の並に稱す

解 食具 家員也そ書法
好漢をも祖小徒功

あり軍中歌を唱へ煮穀
こし

靈照女 龐居士の常流の流
レイコトソシ 説を齋胡夕の法

今柳徳茶 唐の女子茶師
後用書を傳ひ

龐頭 蘭相如と感多る人
法をい梅と人

廣布 宣宣射以老農と

秘如冲瑾 元の畫家

連素衡 暁の畫家
白平

靈石 名如芝定の
る

之部

素素 鳴る 天照太神の身出ま
田飛線要坊て三十まをのわを
を御日牛次天王と云ふま

夜通姫 允恭帝の妃大中娘妹
松原の御針を津島高元

宗心 負持水因所と
稱画

和画 新徳の林松葉門と書
子と成り家セ一画か

尊意 遠江の人息長氏獻山土垂
信法收房天慶三年月

素堂 山民今自庵
芭蕉と友なり

素堂 山民今自庵
芭蕉と友なり

素堂 山民今自庵
芭蕉と友なり

宗泉 宗次氏松葉門
画家

宗祐 元依の画凡哉
よくし

宗達 名伊年法橋のあ人
画凡一家

宗碩 宗祇門月村齋と号
連考の遊人

宗長 孫別の人宗祇系哉
信及阿の比連歌をも

宗牧 兼哉も碩も信也
孫の比連歌をも

宗春 宗祇門廣長の比法橋
松永貞信の門人

宗珠 性光の孫也本邦兼
の孫也法橋の孫也

宗悟 土佐法橋と稱素
仍同門宗珠を母

目より自庵と

宗易 宗次氏

宗測 字如氷オト子と号
香舟門人画をも

宗因 連歌昌孫門人と号
天海庵麻屋所

宗海 八幡の天風を慕ひ
一庵をたぬ松永宗次と号

宗山 一坐又松永上林

宗此 宗次君林名漢と号
以宗の人画をも

宗繁 宗次宗山の兄弟
出魚村のぬき宗中後

曾呂 利新松葉門と号
宗次

園方 惣別廣長氏の女芭蕉の
法橋をたぬ法橋の

風小るやう惟中の
事を判者なり

素堂 山民今自庵
芭蕉と友なり

素堂 山民今自庵
芭蕉と友なり

素堂 山民今自庵
芭蕉と友なり

存義 馬場山有庵
宗次氏

素月 名井氏公元景宗系
福西湖と号書を著

此年別號として御樹の八坂氏に改
龍崎庵加藤子と稱七十歳にて

近年没也今人名傳利到及
も入る存義素月と御士乃

遺を法橋の孫と名世を云
秋るとのいふ母方の伯父を

男宗井永方若小法橋を著
因 四目庵門人にて印刻を著

素堂 遍昭俗の時の子と云
法橋の孫と稱す

八父子秋人

尊教 法橋の孫と号
宗次氏

尊法親王 伏見院宗義の
皇子守隆を稱

大承院と号青蓮院門人
也

此又元年九月御事十九
以下出法橋の御流

道法親王 法法凡院第
十の皇子と

樂院と号皇承
十年

皇承 一条院持其書の
男後十宗院と

号永正十年

法法親王 後柏原院第
三の皇子と

号天文十九年

法法親王 正親町院第
三の皇子と

①

②

③

廿六

梵石 名 齊西齋老人と号す

漁頼 地名者 十の漢

之部

恒臣 友承流名の男 恒重と号す

恒信 乃の方の男 三位大納言 後太宰府に左近少輔

恒隆 友承流 後下左近少輔 恒重の弟 是云流名

恒光 友承流 子光を号す 恒周にて任官し

恒世 世長 友承流 不流 源光と号す 恒最の弟 寺内少輔

恒法 友承流 不流 源光と号す 恒世の弟

恒長 村田松風 竹圃林

貫之 此流の男 七代 源光と号す 貫之の弟 源光を号す

通玄 宇治橋の辺に家を南に 昔からある 遺書今 繁神大法寺に

土蔵 若氏 源光と号す 源光の弟 源光を号す 源光の弟 源光を号す

土蔵 源光の弟 源光を号す 源光の弟 源光を号す

継山 捨投 名 捨投の山人 捨投の山人

通谷 名 費 源明の源 通谷の山人

子之部

根井 大 行 親と孫 木吉 根井の山人

彌衛 名 彌衛 彌衛の山人 彌衛の山人

彌衛 名 彌衛 彌衛の山人 彌衛の山人

十之部

中院 通秀 公 從一位 内大臣 中院の山人

中村 永昌 常 家 中村の山人

中根 元 名 中根 元 中根の山人

中山 高陽 名 中山 高陽 中山の山人

中山 三 名 中山 三 中山の山人

中西 泰 名 中西 泰 中西の山人

中澤 道 名 中澤 道 中澤の山人

那須 與 名 那須 與 那須の山人

那波 活 名 那波 活 那波の山人

吳織 支那吳縣の女工織器帝
の胡小漢織等とてのい
るまゝ

久保 人の 女の腰の白紙を
通九針先ひ懸る

久保 守 門人東の画
久保 守 門人東の画

九條 道 源氏の小男中納の
の男極良後公

九條 稔 通公 公の男美自先
の男極良後公

九條 稔 通公 公の男美自先
の男極良後公

穴 女今集小出
他者女の右人

工 匠 一龍なまつ尉と稱
皇士野の獨場にて

邦 新 七門帝の五子
休女史志は子

徳 公 女史 休女史志は子
休女史志は子

徳 公 女史 休女史志は子
休女史志は子

徳 公 女史 休女史志は子
休女史志は子

二三八八の助を馬と改む樹門人
幼少山藩の大儒

徳 代 鋪 江名、世を改むと改む
其の源の女史

徳 正 成 徳正成の男多門藩
と將軍機嫌喜ぶ

徳 長 譜 徳長譜の書吏も春
流公一家

徳 世 世 徳世世の源 申樂の徳
申樂の徳

徳 山 空 洞 名守惟字の漢
筆なる名書中流

串 崎 武 光 三善流の
七流一系

徳 恩 恭 字子肅風園と号
徳恩と稱慶河の家

徳 其 寧 思其の男字八子永
南樓と号と号

徳 須 実 武 須実の男
武須実と稱慶河の家

黒 田 心 雲 遠近の系人をも男
正名又系系

空 也 上 人 為原親王の男
為原親王の男

空 合 名、世を改むと改む
法嗣大元流の系

元 三 大 昨 近頃の人本流は名
良流天台のなり

大 昨 大昨の源の男は
大昨の源の男

徳 山 空 洞 名守惟字の漢
筆なる名書中流

愚 極 あり 愚極の源
愚極の源

徳 山 空 洞 名守惟字の漢
筆なる名書中流

和 翁 名、世を改むと改む
和翁の源

快 川 快川の源の男は
快川の源の男

漢 黄 帝 漢の源の男は
漢の源の男

黄 石 公 黄石公の源の男は
黄石公の源の男

黄 幹 黄幹の源の男は
黄幹の源の男

黄 山 谷 黄山谷の源の男は
黄山谷の源の男

山本復齋 源隆と称海見
儒教

山本維宗 一流

山口香溪 梅庵と称牧溪
香舟の凡を述ひ

系所近世の
名画

山科李溪富 宗隆と号
画家

山崎周齋 名嘉字八敬
并初修徳寺

俗儒字一家 又一家 又一家
新加納と称天和二年九月
十一日没六十二下其本

山縣周南 名考字次
少助と称徂徠

門人長府の
儒

山本 名尚徳及他と
儒

方一庵の
名

山元隣 字八幡浦傍人
李西の歌人

山元宗 名考字次
少助と称徂徠

室和尙の
又号

山鹿素行 名六の祐を
清と称甲別流

兵衛家大石良雄も
門人

山下屋内 享保の比本武の
逸氏

山中道徳 徳比と称凡齋又
光徳と号大徳

弟東次
号

小田道安 名功と称和名
用文字舟の風

をそのひ一家
をそのひ

山田宗備 宗且門人
山田松は 近世公筆の
也足形 中流通徳法名素
也足形 法名素流より法
一家和名の名

度長中折

矢野 名考字次
少助と称徂徠

柳川 名考字次
少助と称徂徠

木村 名考字次
少助と称徂徠

後田 名考字次
少助と称徂徠

月石 名考字次
少助と称徂徠

教 名考字次
少助と称徂徠

教 名考字次
少助と称徂徠

教 名考字次
少助と称徂徠

教 名考字次
少助と称徂徠

野坡 名考字次
少助と称徂徠

橋 名考字次
少助と称徂徠

安村 名考字次
少助と称徂徠

揚月 名考字次
少助と称徂徠

陽峯 名考字次
少助と称徂徠

養叟 名考字次
少助と称徂徠

養由基 名考字次
少助と称徂徠

百歩 名考字次
少助と称徂徠

百歩 名考字次
少助と称徂徠

百歩 名考字次
少助と称徂徠

百歩 名考字次
少助と称徂徠

揚子 名考字次
少助と称徂徠

揚雄 名考字次
少助と称徂徠

揚暉 名考字次
少助と称徂徠

揚脩 名考字次
少助と称徂徠

揚貴妃 名考字次
少助と称徂徠

揚萬里 名考字次
少助と称徂徠

揚人龍 名考字次
少助と称徂徠

揚月洞 名考字次
少助と称徂徠

揚雍建 名考字次
少助と称徂徠

耶律楚材 名考字次
少助と称徂徠

耶輪陀 名考字次
少助と称徂徠

滿仲 名考字次
少助と称徂徠

將門 名考字次
少助と称徂徠

反 名考字次
少助と称徂徠

ヤ

ヤ

ヤ

世四

榎子 新後の男多孫三三
牙 子 多 人 如 井 の 世 子 系
と 中 心 後 継 ぎ の 世 子 系

臨朝の元祖

理平 三統代後位三統代
文人のり

区澄 道徳大行能有公の
男多人

区余 お前の位カ
お前と称

改子 如家時政の身新相々の
山を本番明けて天下の
改を油断一尾指事と
称す

真鳥 武烈帝紀後計天皇
上 年 前 大 臣 平 郡 志
多 武 臣 出 身 王 位 を 攝 人
と 伴 件 を 連 結 せ ば 母 子 と
あ い 違 世 孫 多 人 対 多 流
大 伴 志 多 世 孫 多 人

真鳥 武烈帝紀後計天皇
上 年 前 大 臣 平 郡 志
多 武 臣 出 身 王 位 を 攝 人
と 伴 件 を 連 結 せ ば 母 子 と
あ い 違 世 孫 多 人 対 多 流
大 伴 志 多 世 孫 多 人

真鳥 武烈帝紀後計天皇
上 年 前 大 臣 平 郡 志
多 武 臣 出 身 王 位 を 攝 人
と 伴 件 を 連 結 せ ば 母 子 と
あ い 違 世 孫 多 人 対 多 流
大 伴 志 多 世 孫 多 人

真鳥 武烈帝紀後計天皇
上 年 前 大 臣 平 郡 志
多 武 臣 出 身 王 位 を 攝 人
と 伴 件 を 連 結 せ ば 母 子 と
あ い 違 世 孫 多 人 対 多 流
大 伴 志 多 世 孫 多 人

真鳥 武烈帝紀後計天皇
上 年 前 大 臣 平 郡 志
多 武 臣 出 身 王 位 を 攝 人
と 伴 件 を 連 結 せ ば 母 子 と
あ い 違 世 孫 多 人 対 多 流
大 伴 志 多 世 孫 多 人

真鳥 武烈帝紀後計天皇
上 年 前 大 臣 平 郡 志
多 武 臣 出 身 王 位 を 攝 人
と 伴 件 を 連 結 せ ば 母 子 と
あ い 違 世 孫 多 人 対 多 流
大 伴 志 多 世 孫 多 人

真鳥 武烈帝紀後計天皇
上 年 前 大 臣 平 郡 志
多 武 臣 出 身 王 位 を 攝 人
と 伴 件 を 連 結 せ ば 母 子 と
あ い 違 世 孫 多 人 対 多 流
大 伴 志 多 世 孫 多 人

真鳥 武烈帝紀後計天皇
上 年 前 大 臣 平 郡 志
多 武 臣 出 身 王 位 を 攝 人
と 伴 件 を 連 結 せ ば 母 子 と
あ い 違 世 孫 多 人 対 多 流
大 伴 志 多 世 孫 多 人

真鳥 武烈帝紀後計天皇
上 年 前 大 臣 平 郡 志
多 武 臣 出 身 王 位 を 攝 人
と 伴 件 を 連 結 せ ば 母 子 と
あ い 違 世 孫 多 人 対 多 流
大 伴 志 多 世 孫 多 人

真鳥 武烈帝紀後計天皇
上 年 前 大 臣 平 郡 志
多 武 臣 出 身 王 位 を 攝 人
と 伴 件 を 連 結 せ ば 母 子 と
あ い 違 世 孫 多 人 対 多 流
大 伴 志 多 世 孫 多 人

真鳥 武烈帝紀後計天皇
上 年 前 大 臣 平 郡 志
多 武 臣 出 身 王 位 を 攝 人
と 伴 件 を 連 結 せ ば 母 子 と
あ い 違 世 孫 多 人 対 多 流
大 伴 志 多 世 孫 多 人

真鳥 武烈帝紀後計天皇
上 年 前 大 臣 平 郡 志
多 武 臣 出 身 王 位 を 攝 人
と 伴 件 を 連 結 せ ば 母 子 と
あ い 違 世 孫 多 人 対 多 流
大 伴 志 多 世 孫 多 人

真鳥 武烈帝紀後計天皇
上 年 前 大 臣 平 郡 志
多 武 臣 出 身 王 位 を 攝 人
と 伴 件 を 連 結 せ ば 母 子 と
あ い 違 世 孫 多 人 対 多 流
大 伴 志 多 世 孫 多 人

真鳥 武烈帝紀後計天皇
上 年 前 大 臣 平 郡 志
多 武 臣 出 身 王 位 を 攝 人
と 伴 件 を 連 結 せ ば 母 子 と
あ い 違 世 孫 多 人 対 多 流
大 伴 志 多 世 孫 多 人

真鳥 武烈帝紀後計天皇
上 年 前 大 臣 平 郡 志
多 武 臣 出 身 王 位 を 攝 人
と 伴 件 を 連 結 せ ば 母 子 と
あ い 違 世 孫 多 人 対 多 流
大 伴 志 多 世 孫 多 人

真鳥 武烈帝紀後計天皇
上 年 前 大 臣 平 郡 志
多 武 臣 出 身 王 位 を 攝 人
と 伴 件 を 連 結 せ ば 母 子 と
あ い 違 世 孫 多 人 対 多 流
大 伴 志 多 世 孫 多 人

松岡村雨 後列を扱の松多時
のサ三人の佳母の
流であつて松近去家氏人
遊の退を引交家氏内記

松永之秀 三好家の氏家
河と林田野天身
を指し入人をして下り
夫すをハレ記わけて松永と

松永貞徳 久東の男貞徳
又松永貞徳の男
三年排徳乃の室貞徳
道徳の徳多に長政九と号
貞徳二年七月十日辰
林田山子と地乃内人

松永昌三 貞徳の長子儒学
年尺五堂又儒学
相富川人林春初本下流
世間二井等四門人
の八本下流

松永昌易 昌三の男
と号儒学
松浦貞徳 貞徳の長子
の八本下流

松永素元 随流堂也
林上田平流
松永素元 随流堂也
林上田平流

松田長秀 丹後守と称
善人
松村梅園 長子仲と称
松崎銀海 儒学
松永貞徳 儒学

松田長秀 丹後守と称
善人
松村梅園 長子仲と称
松崎銀海 儒学
松永貞徳 儒学

松田長秀 丹後守と称
善人
松村梅園 長子仲と称
松崎銀海 儒学
松永貞徳 儒学

松田長秀 丹後守と称
善人
松村梅園 長子仲と称
松崎銀海 儒学
松永貞徳 儒学

松田長秀 丹後守と称
善人
松村梅園 長子仲と称
松崎銀海 儒学
松永貞徳 儒学

松田長秀 丹後守と称
善人
松村梅園 長子仲と称
松崎銀海 儒学
松永貞徳 儒学

松田長秀 丹後守と称
善人
松村梅園 長子仲と称
松崎銀海 儒学
松永貞徳 儒学

松田長秀 丹後守と称
善人
松村梅園 長子仲と称
松崎銀海 儒学
松永貞徳 儒学

松田長秀 丹後守と称
善人
松村梅園 長子仲と称
松崎銀海 儒学
松永貞徳 儒学

松田長秀 丹後守と称
善人
松村梅園 長子仲と称
松崎銀海 儒学
松永貞徳 儒学

松田長秀 丹後守と称
善人
松村梅園 長子仲と称
松崎銀海 儒学
松永貞徳 儒学

松田長秀 丹後守と称
善人
松村梅園 長子仲と称
松崎銀海 儒学
松永貞徳 儒学

松田長秀 丹後守と称
善人
松村梅園 長子仲と称
松崎銀海 儒学
松永貞徳 儒学

松田長秀 丹後守と称
善人
松村梅園 長子仲と称
松崎銀海 儒学
松永貞徳 儒学

松田長秀 丹後守と称
善人
松村梅園 長子仲と称
松崎銀海 儒学
松永貞徳 儒学

松田長秀 丹後守と称
善人
松村梅園 長子仲と称
松崎銀海 儒学
松永貞徳 儒学

松田長秀 丹後守と称
善人
松村梅園 長子仲と称
松崎銀海 儒学
松永貞徳 儒学

松田長秀 丹後守と称
善人
松村梅園 長子仲と称
松崎銀海 儒学
松永貞徳 儒学

松田長秀 丹後守と称
善人
松村梅園 長子仲と称
松崎銀海 儒学
松永貞徳 儒学

松田長秀 丹後守と称
善人
松村梅園 長子仲と称
松崎銀海 儒学
松永貞徳 儒学

松田長秀 丹後守と称
善人
松村梅園 長子仲と称
松崎銀海 儒学
松永貞徳 儒学

①

②

③

世五

不角 立羽氏松月堂未得門
盤林編集也

房前

任友氏の川家と称
齊世親王の男母を

英明 齊世親王の男母を
養家をたぬ進徳中

将前意人

文室康秀 前甲斐目
赤人の

文室相康 康秀の男を云
赤人の

深川少将 通いし伝説あり

深美受 赤人の男を云
赤人の

新の秋

深見玄代 赤人の男を云
赤人の

友林宗源 赤人の男を云
赤人の

友井快齋 康伊高子仲
赤人の

友門用齋 和初の人和家
赤人の

古田守勝 赤人の男を云
赤人の

古川長助 赤人の男を云
赤人の

古林見直 赤人の男を云
赤人の

大坂小生 赤人の男を云
赤人の

門人三太夫 赤人の男を云
赤人の

風虎公 赤人の男を云
赤人の

風伴 赤人の男を云
赤人の

伏芝加賀 赤人の男を云
赤人の

富士公成 赤人の男を云
赤人の

福可 赤人の男を云
赤人の

英 赤人の男を云
赤人の

不聞 赤人の男を云
赤人の

復庵 赤人の男を云
赤人の

普化 赤人の男を云
赤人の

漢伏犧 赤人の男を云
赤人の

傅説 赤人の男を云
赤人の

傅玄 赤人の男を云
赤人の

傅遜 赤人の男を云
赤人の

傅若 赤人の男を云
赤人の

無鹽君 赤人の男を云
赤人の

醜婦 赤人の男を云
赤人の

文中子 赤人の男を云
赤人の

文彦博 赤人の男を云
赤人の

文天祥 赤人の男を云
赤人の

文徵明 赤人の男を云
赤人の

停雲 赤人の男を云
赤人の

巫咸 赤人の男を云
赤人の

福壽 赤人の男を云
赤人の

南史 赤人の男を云
赤人の

白鶴 赤人の男を云
赤人の

王 赤人の男を云
赤人の

武 赤人の男を云
赤人の

武元 赤人の男を云
赤人の

馮子振 赤人の男を云
赤人の

7

7

7

馮君道 元の画

馮叔三 馮の画友

富鴻業 馮の画友

豐干 天台山云居寺の僧

傅大士 天台山云居寺の僧

双林寺 天台山云居寺の僧

不空三藏 唐の密宗の僧

大曆九年 唐の年号

富樫那 秋田十大夫子

コ之部

事代主命 天照大神の

後鳥羽院 院号

後醍醐天皇 院号

後水尾院 院号

後深草院 院号

後醍醐天皇 院号

後深草院 院号

後醍醐天皇 院号

小治亮 院号

國山 俗二聖天龍寺の住持

珊瑚海 名中珊瑚明又後継は意

興家 名永中致

言外 俗中致

漢孔子 俗中致

子人周系王臣王臣四月八日

本七土後小文宣王王連封

天下席以進祀一千四百十

除世々の帝土を子孫以進

今に云

孔鯉 字伯魚

孔伋 字思孔の孫

名良を双割りてく王姓侍て

伍福 字天錫

五柳先生 陶淵明を毛呂

侯夫八 母を叔の賢女

吳王夫 號王勾踐を

吳起 字子孫を

吳越 字子孫を

吳道子 字元化を

吳玠 字子孫を

吳玠 字子孫を

吳澄 字子孫を

吳元 字子孫を

吳福 字子孫を

吳壽民 字伯仁

吳鎮 字子孫を

吳大素 字子孫を

吳國倫 字子孫を

吳賢 字子孫を

吳雁門 字子孫を

吳苑 字子孫を

吳琚 字子孫を

吳宏 字子孫を

顧聖王 字子孫を

顧信 字子孫を

顧亨 字子孫を

顧炎武 字子孫を

顧可久 字子孫を

顧璘 字子孫を

顧企 字子孫を

顧林 字子孫を

顧孝先 字子孫を

顧鳳翔 字子孫を

胡安國 字子孫を

胡致堂 字子孫を

胡五峯 字子孫を

胡憲 字子孫を

胡璣 字子孫を

胡焮 字子孫を

胡益 字子孫を

胡敬齋 字子孫を

五日五衍 字ハ子行 元のまゝ

貢師泰 元のまゝ

國姓又耶 日本肥前平戸の民 明はては鄭成功と

永曆六年二月 檳榔嶼古

護法善菩薩 天竺の人古

唐の二五元 亦年月

虎山 名は漢伏元 姓は

虎丘 名は陸家湖の

古林 名は持休 丹波と

工 部

蝦夷 蘇我馬子の男入 蘇又

遠方成遠 唐の文を

江村 齋 名は齋の齋家 実文

中波者

枝至元 年人 持也

鹽台 官 言負と

後行者 名は小南 文符帝の如

一 結果を合して一言の神

遊水 遊水

唐の 名は西大寺 山唐 漢家

燃燈 名は西 漢家の

千光 名は西 漢家の

延光 名は西 漢家の

大周 二年 大周 政

小周 二年 大周 政

山は栖と 名は栖と 栖と

燕丹 名は燕 丹と

人下を 名は人下と

姚思廉 名は姚 思廉と

姚安 名は姚 安と

帝の御心

慧可 眼を穿てて空を穿て

の周暦十二年三月十二日寂

慧能 母年暮く後程の心程

慧大 師はく難坊自持のち

大鑑 禪師の謚

慧遠 丁内の人を度す

慧思 待と画の

慧心 名師師の

テ之部

天智天皇 舒明帝の皇子

天武天皇 天智の皇子

定家卿 入道

山内

貞信公

貞佐

貞室

貞兼

貞柳

貞恕 乾成貞室

貞陸 仙林

光光 光登と称

北殿司

鉄舟

鉄山

鉄叟

鉄眼

鉄牛

鉄梅

超元

天鏡

天英

天從

天来

天祐

天室

エテ

テ

テ

四十一

天真 名、宗昇如心流の
字は

漢帝堯 陶唐氏名、放勳
字は 炎帝、少昊

趙高 秦始皇の丞相、改を
字は 趙高、少昊

趙飛燕 后、漢の成帝を
字は 趙飛燕、少昊

趙雲 將軍、英勇の長
字は 趙雲、少昊

趙岐 漢の人物、経学
字は 趙岐、少昊

趙至 景負、晋の松蘿
字は 趙至、少昊

趙徽 字は 承祐、唐初の
字は 趙徽、少昊

趙均 字は 均、均、均、均
字は 趙均、少昊

趙子澄 字は 處、麻、東の宗室
字は 趙子澄、少昊

趙漢 字は 錫、爵、淞、陽、又、玉
字は 趙漢、少昊

趙徵 字は 徵、遠
字は 趙徵、少昊

趙玄 字は 庸、成、漢、高、融の
字は 趙玄、少昊

鄭樵 字は 無用、自、回、生、と号
字は 鄭樵、少昊

鄭録 字は 克、敬、元、胡
字は 鄭録、少昊

鄭培 字は 山、如、古、亭、と号
字は 鄭培、少昊

鄭文賢 字は 文、儒
字は 鄭文賢、少昊

鄭高 字は 天、大、故、讓、漢、と号
字は 鄭高、少昊

鄭山 字は 山、如、古、亭、と号
字は 鄭山、少昊

晁錯 漢の祖の
字は 晁錯、少昊

晁補之 字は 先、哲
字は 晁補之、少昊

鉄拐 字は 鉄、拐、を、持、と号
字は 鉄拐、少昊

丁令威 仙術を有する鶴と化
字は 丁令威、少昊

丁書 字は 書、と号
字は 丁書、少昊

丁德用 字は 徳、用、と号
字は 丁德用、少昊

丁奎 字は 奎、と号
字は 丁奎、少昊

丁野夫 字は 野、夫、と号
字は 丁野夫、少昊

丁雲鵬 字は 雲、鵬、と号
字は 丁雲鵬、少昊

丁守訓 字は 守、訓、と号
字は 丁守訓、少昊

丁鳳 字は 文、瑞、竹、溪、と号
字は 丁鳳、少昊

丁元薦 字は 長、孺、曲、賦、と号
字は 丁元薦、少昊

程子 字は 程、子、と号
字は 程子、少昊

程震 字は 震、と号
字は 程震、少昊

程連城 字は 連、城、と号
字は 程連城、少昊

程鉅夫 字は 鉅、夫、と号
字は 程鉅夫、少昊

程金南 字は 金、南、と号
字は 程金南、少昊

天照白大神 地神、天照大神
字は 天照白大神、少昊

天忍穂耳尊 天孫、天忍穂耳尊
字は 天忍穂耳尊、少昊

天中 字は 天、中、と号
字は 天中、少昊

天鈿女命 太皇太后の
字は 天鈿女命、少昊

天孫日命 天孫、天孫日命
字は 天孫日命、少昊

天兒屋根命 天孫、天兒屋根命
字は 天兒屋根命、少昊

足麻呂 字は 足、麻、呂、と号
字は 足麻呂、少昊

明日香子 字は 明、日、香、子、と号
字は 明日香子、少昊

阿保 字は 阿、保、と号
字は 阿保、少昊

趙普 字は 則平、宋の相
字は 趙普、少昊

趙子昂 字は 孟頫、松、雪、道人
字は 趙子昂、少昊

趙雍 字は 仲、穆、子、昂、の、弟
字は 趙雍、少昊

趙式 字は 式、宋の
字は 趙式、少昊

趙壽 字は 壽、南、山
字は 趙壽、少昊

趙珣 字は 珣、初、名、之、確、字
字は 趙珣、少昊

趙宦光 字は 宦、光、明、朔、の、医、家
字は 趙宦光、少昊

趙繼 字は 繼、子、直、敬、秋、と号
字は 趙繼、少昊

趙獻可 字は 獻、可、子、月、胡、の、医、家
字は 趙獻可、少昊

趙均 字は 均、均、均、均
字は 趙均、少昊

趙子澄 字は 處、麻、東の宗室
字は 趙子澄、少昊

趙漢 字は 錫、爵、淞、陽、又、玉
字は 趙漢、少昊

趙徵 字は 徵、遠
字は 趙徵、少昊

趙玄 字は 庸、成、漢、高、融の
字は 趙玄、少昊

鄭樵 字は 無用、自、回、生、と号
字は 鄭樵、少昊

鄭録 字は 克、敬、元、胡
字は 鄭録、少昊

鄭培 字は 山、如、古、亭、と号
字は 鄭培、少昊

鄭文賢 字は 文、儒
字は 鄭文賢、少昊

鄭高 字は 天、大、故、讓、漢、と号
字は 鄭高、少昊

ア之部

天照白大神 地神、天照大神
字は 天照白大神、少昊

天忍穂耳尊 天孫、天忍穂耳尊
字は 天忍穂耳尊、少昊

天中 字は 天、中、と号
字は 天中、少昊

天鈿女命 太皇太后の
字は 天鈿女命、少昊

天孫日命 天孫、天孫日命
字は 天孫日命、少昊

天兒屋根命 天孫、天兒屋根命
字は 天兒屋根命、少昊

足麻呂 字は 足、麻、呂、と号
字は 足麻呂、少昊

明日香子 字は 明、日、香、子、と号
字は 明日香子、少昊

阿保 字は 阿、保、と号
字は 阿保、少昊

漢織 胡呂織等しく日本よ
男女巧のなをいふ

敦忠 大長時平之の男
枇杷中納言敦人

敦盛 平多経経盛の男を及
大夫一公命て重宝所持

頭痛 平重之男が此白太右
大夫夫た系人夫久者

二平出家也
秀人

安倍仲満 中宮頼朝の男入
支那は秘

幸山二位を降る侍類を以
て

安倍度庭 左府の男
持中納言を世免

の比ま

安倍晴明 彦庭之七世益枝
の男を世免

益枝保憲 彦庭之七世益枝
の男を世免

夫子孫 彦司天公身御の
長

安倍貞任 小生家任ハ
の男を世免

安達盛長 彦九郎と林朝
の男を世免

足立之遠元 彦長の子を及
別家なる男

足利之遠元 彦長の子を及
別家なる男

在田原業平 男在又中納言
軍藤放從にして相和を

菅原 大長時平之の男
枇杷中納言敦人

清見 綱齋 右衛門尉
和国は秘

曹廉 字大猷 達普 儒 縵

曹彬 字 平 玉 孫

曹時中 幼名 而 交 彦 史 破 置

曹學全 字 宗 六 從 弟 明 儒 五 經

曹振 知 在 玉 字 二 百

塞翁 為 塞 翁 以 故 之 也 字

山濤 字 巨 跡 晉 的 也 字

崔環 字 六 子 玉 漢 的 性 任 奇

崔氏 子

山佳鳥 魏 的 字 字 上 回

崔顥 唐 的 詩 人 烟 名 著 甚 哉

崔曾 唐 的 佛 家 也 批 語

崔寔 義 也

東據 字 宗 為 義 無 期 的

索靖 字 幼 安 漢 之 猶 述

李登 字 季 山 佳 韻 的

之部

士 德 公 下 道 達 僧 男 夫 志

隆 一 軍 將 在 投 軍 之 時

西 二 位 在 大 作 亦 亦 至 越 至 年

十月 號 八 十 之 今 守 候 守 之

魚 養 養 德 家 典 義 亦 亦 亦 亦 亦

偕同 二 司 母 偕 前 同 一 母

君 固 在 流 以 之 母 云 款 之

紀 述 之 道 亦 亦 亦 亦 亦

寬 的 文 字 亦 亦 亦 亦 亦

紀 在 昌 晨 紀 的 田 村 上 帝

紀 綱 之 義 亦 亦 亦 亦 亦

紀 尹 紀 子 內 紀 王 二 王 之 女 房

味 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

公 生 之 紀 亦 亦 亦 亦 亦

佳 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

面 之 禮 一 句 亦 亦 亦

崔 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

崔 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

崔 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

崔 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

崔 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

崔 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

崔 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

崔 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

崔 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

崔 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

崔 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

之好 善 之 仁 教 人

國 君 經 漢 德 倫 倫 倫 又

本 會 義 仲 第 九 年 義 德

本 會 義 仲 第 九 年 義 德

本 會 義 仲 第 九 年 義 德

本 會 義 仲 第 九 年 義 德

本 會 義 仲 第 九 年 義 德

本 會 義 仲 第 九 年 義 德

本 會 義 仲 第 九 年 義 德

本 會 義 仲 第 九 年 義 德

本 會 義 仲 第 九 年 義 德

本 會 義 仲 第 九 年 義 德

本 會 義 仲 第 九 年 義 德

本 會 義 仲 第 九 年 義 德

本 會 義 仲 第 九 年 義 德

本 會 義 仲 第 九 年 義 德

本 會 義 仲 第 九 年 義 德

本 會 義 仲 第 九 年 義 德

本 會 義 仲 第 九 年 義 德

本 會 義 仲 第 九 年 義 德

本 會 義 仲 第 九 年 義 德

本 會 義 仲 第 九 年 義 德

本 會 義 仲 第 九 年 義 德

本 會 義 仲 第 九 年 義 德

本 會 義 仲 第 九 年 義 德

小向雲 八幡を庵と称す家
小糸包山 二年新撰人
老良親実 村松新門人紀
蓬比の場をて心中年

其角 宝井氏宝番目供晋子
後常々牛馬にぬとりて
許六 藤門氏九老井と号す
去来 向井氏高僧と号す

希因 少技也由
几圭 巴人の門系師の
芝術 毎時 夜討の時者の
記主 新定之男名良
行基 泉列の人と云ふ氏百
僧心 場時信位しては路又
大善 扇の字と場有け
号を 少と云ふ例あり天平
後 宝元年二月二日香をま
知八十又曾て了智多の
行 冬 保延元年三月寂歎

行助 法不惣持房連歎先
喜撰 友人の字法山の信と号
玉舟 名余瑤瑞泉也夫徳
玉岡 名八如令建仁寺四旨の
玉暎 名八梵若
玉浦 名余瑤瑞泉也夫徳
依山 名余瑤瑞泉也夫徳

鏡堂 名八元久誠世相通
寄堂 名八元久誠世相通
希庵 名八元久誠世相通
器之 名八元久誠世相通
義南 名八元久誠世相通
義天 名八元久誠世相通
岐陽 名八元久誠世相通
岐島 名八元久誠世相通

其角 宝井氏宝番目供晋子
後常々牛馬にぬとりて
許六 藤門氏九老井と号す
去来 向井氏高僧と号す

玉堂 名八元久誠世相通
玉舟 名八元久誠世相通
玉岡 名八元久誠世相通
玉暎 名八元久誠世相通
玉浦 名八元久誠世相通
依山 名八元久誠世相通

其角 宝井氏宝番目供晋子
後常々牛馬にぬとりて
許六 藤門氏九老井と号す
去来 向井氏高僧と号す

其角 宝井氏宝番目供晋子
後常々牛馬にぬとりて
許六 藤門氏九老井と号す
去来 向井氏高僧と号す

キ

キ

キ

四十九

許王堂 字は君如山水苑もの

許自宏 字は君如山水苑もの

許巨川 字は君如山水苑もの

許谷谷 字は君如山水苑もの

箕子 殷紂王の庶兄周の武王設たてに箕子が大賢を初て朝鮮に封じしもの

遠伯玉 衛の侯大夫

季子元子 魯の侯大夫

季子元子 魯の侯大夫

季子元子 魯の侯大夫

魏徴 字は子元文中子の魏の大臣は子元子の兄わう

丘瓊山 相胡の儒家

琴堂高 相胡の儒家

令仁山 名は履祥字は去庸宋の末居休ては通雅

牛樞暉 字は君如山水苑もの

玉洞 宋相國泌字は去庸宋の末居休ては通雅

虛堂 名は履祥字は去庸宋の末居休ては通雅

虛白 名は履祥字は去庸宋の末居休ては通雅

柳多之 名は履祥字は去庸宋の末居休ては通雅

支那 名は履祥字は去庸宋の末居休ては通雅

承平 名は履祥字は去庸宋の末居休ては通雅

之部 名は履祥字は去庸宋の末居休ては通雅

キ

キ

キ

五十

澁野井 本子土戸 法道

出て一家兼養

清水谷 実業 廻り人 清水

中道

清水 通志 綱常 仲の男 清水

清水 法疑てこと

清水 乃宗 糸の葉人 世は風

清水 水花 字子春 春を為

清水 静 白拍子 多岐 静

清水 火公 入乃と 法法

のちを 初めを

澁川 春且 画 門人 又 澁川

歴教 遊一 後内 曆不 撰一

日年 貞吉 主曆 著作 撰一

白女 源遠 女口の 遊を

白井 字周 白雲 山人 と号

下次 泉政 為 撰一 大納言 泉

遊史 持 為 撰一 大納言 泉

下河 邊長 流 和表 字由 大納言

源 栖の 山人

貞吉 中 没

仲叔 春抱 子大 飯の 備家

芝法眼 廣表 文 福中

芝南 勝家 撰一 法修 芝

減 秋の 人 秋の 撰一

未乃 文 門人 日中 撰一

夏馬 の 年 志 撰一

香石 石 撰一 人 撰一

地足 泉 撰一 文 撰一

一家 國 撰一 撰一

大船 撰一 撰一

昌運 門人 撰一

常慶 永叙 門の 撰一

春湖 春笑 門の 撰一

心海 永徳 門の 撰一

心叟 撰一 撰一

諸葛 監 撰一 撰一

諸九 撰一 撰一

舞水 撰一 撰一

水府 撰一 撰一

似雲 撰一 撰一

似春 撰一 撰一

似船 撰一 撰一

加寄 撰一 撰一

門人 撰一 撰一

那阿 連 撰一 撰一

那桂 連 撰一 撰一

侍公 撰一 撰一

二梁 撰一 撰一

支考 撰一 撰一

舍羅 撰一 撰一

言徳 撰一 撰一

信徳 撰一 撰一

支考 撰一 撰一

支考 撰一 撰一

佛文 撰一 撰一

如雲谷と号す初名を馬
後信と号す本流の流

子と号す狂歌を
よくしむ

正徹 紀姓之夫は清光東福寺
の之地福月庵と称す山科

如香 九洲の人と号す守り生
画の妙を究む

周文 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

周德 惟謙と号す防州雲谷
多し後名魚門と一家

周耕 門人多し鍾馗好む
人多し後名魚門と一家

松元堂 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

山滝本坊上人の清浄なり
又画は狩り山系と号す一家

松岳 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

信叔 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

信海 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

子七 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

子姪 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

子姪 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

子姪 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

字堂 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

終南 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

春屋 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

周茂叔 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

周伯琦 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

周天球 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

周之冕 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

周銘 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

周任祿 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

周鼎 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

周麟 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

周履清 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

周臣 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

周憲王 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

周文榮 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

周季之 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

周公 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

周紹達 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

周亮王 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

周度 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

子貢 右京長門守と号す
妙を究む画凡一家

子路 仲由又季路孔子の弟子衛の普曠の

子淵 姓ハ言名、禮孔子の

子夏 姓ハ文字を稱せしむ

子張 姓ハ顔孫名ハ昧孔子の

子賤 姓ハ宓名ハ不齊孔子

子羔 姓ハ高名ハ宋孔子門

子産 鄭の大夫を尊ぶ

漆雕 定子若孔子の弟子

司馬牛 名ハ耕孔子の

司馬相 魯の大匠孔子の

司馬相如 魯の長卿漢の附

司馬遷 十歳又を痛む漢

司馬懿 字ハ仲達魏の元帥

司馬彪 字ハ叔子唐の博士

司馬貞 字ハ子微唐の文苑

司馬攸 字ハ子剛唐の博士

司馬溫公 名ハ光字ハ君實

温公 名ハ光字ハ君實

秦始皇 第一世の天子天下

秦舞陽 燕の太子丹の客

秦皇 秦の始皇帝

秦觀 字ハ少游又太虚

秦檜 字ハ子儀又太虚

朱大年 字ハ元初の

朱丹溪 字ハ元初の

鍾離權 字叔通和合子
王陽山志序云
世と号後漢の附吐蕃書を
一利を考し山谷小走吳人
子馬仙湖及志龜の
鍾繇 字元常胡昭劉佺
鍾繇 字元常胡昭劉佺
鍾繇 字元常胡昭劉佺

謝惠連 字道微
謝瞻 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也

謝朓 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也

謝朓 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也

謝朓 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也

謝朓 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也

謝朓 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也

謝朓 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也

謝朓 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也

謝朓 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也

謝朓 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也

謝朓 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也

謝朓 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也
謝朓 字宏遠家相也

沈佺期 字季子
沈右之 字元之
沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之

沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之

沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之

沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之

沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之

沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之

沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之

沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之

沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之

沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之

沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之

沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之
沈孟堅 字元之

甄立言 魏の太子を殺す

初度世 宋の医家

施沛 明の医家

施永 明の医家

施光 明の医家

友兼中 明の医家

祝世祿 明の医家

祝允明 明の文豪

舞輿 明の人物

舜天王 流布の王法

大里 唐の太子

壽老人 唐の仙人

善陀太子 唐の太子

淨飯王 釋迦王の父

慈恩 唐の僧侶

慈如 唐の僧侶

章安 唐の僧侶

唱上 唐の僧侶

傳 唐の僧侶

六 唐の僧侶

止觀 天台宗の書

儀範 天台宗の書

青弁 天台宗の僧侶

舍利弗 佛の弟子

須菩提 佛の弟子

成博 佛の弟子

工部 官職

彦火 神名

聖兒 神名

聖 神名

聖 神名

一言 佛の教

人行 佛の行

人磨 佛の行

相 佛の行

相 佛の行

人磨 佛の行

人磨 佛の行

人磨 佛の行

人磨 佛の行

人見友元 佛の弟子

日向 佛の弟子

毛月三美 藤門と号する
百瀬耕元 長瀬より山道世
本居翁 名は長瀬翁の送

水導寺 僧相
文覚 名は長瀬翁の送

周中 名は長瀬翁の送
成林 名は長瀬翁の送

木庵 名は長瀬翁の送
白令端 名は長瀬翁の送

毛長 名は長瀬翁の送
毛延壽 名は長瀬翁の送

毛牆 名は長瀬翁の送
毛松 名は長瀬翁の送

毛晃 名は長瀬翁の送
毛芭 名は長瀬翁の送

毛奇 名は長瀬翁の送
毛奇 名は長瀬翁の送

毛奇 名は長瀬翁の送
毛奇 名は長瀬翁の送

清和天皇 文徳天皇の皇子
清和天皇 文徳天皇の皇子

清和天皇 文徳天皇の皇子
清和天皇 文徳天皇の皇子

清和天皇 文徳天皇の皇子
清和天皇 文徳天皇の皇子

清和天皇 文徳天皇の皇子
清和天皇 文徳天皇の皇子

毛奇 名は長瀬翁の送
毛奇 名は長瀬翁の送

毛

毛

毛

六十

錢乙 字仲湯 梁の医家

錢倅 字開私 字の医家 傷をも百回放とせん

錢選 字公深 字の医家 善本草と号すの画家

錢穀 字叔全 字の医家 善と号す

錢謙益 字有牧 字の医家 明の

錢源 字公深 字の医家 明の

錢封 字公深 字の医家 明の

錢峻 字公深 字の医家 明の

全元起 梁の医家 梁武帝 著同州解とせん

全魁 字公深 字の医家 明の

昭明太子 梁武帝の長子 蕭統 字大休 施 之事を大雅と後後よ 又選とせん

蕭穎 字公深 字の医家 明の

蕭炳 字公深 字の医家 明の

蕭子雲 字公深 字の医家 明の

薛瑩 字公深 字の医家 明の

薛稷 字公深 字の医家 明の

薛系庸 字公深 字の医家 明の

薛文清 字公深 字の医家 明の

薛鑑 字公深 字の医家 明の

薛已 字公深 字の医家 明の

邵康節 字公深 字の医家 明の

邵亨貞 字公深 字の医家 明の

邵詩用 字公深 字の医家 明の

譙夢授 字公深 字の医家 明の

葉士龍 字公深 字の医家 明の

葉文齡 字公深 字の医家 明の

葉雲龍 字公深 字の医家 明の

葉向高 字公深 字の医家 明の

鮮于樞 字公深 字の医家 明の

郊音 字公深 字の医家 明の

饒魯 字公深 字の医家 明の

饒鐸 字公深 字の医家 明の

詹信 字公深 字の医家 明の

詹系鳳 字公深 字の医家 明の

焦竑 字公深 字の医家 明の

焦秉貞 字公深 字の医家 明の

清何 字公深 字の医家 明の

戚南塘 字公深 字の医家 明の

盛寅 字公深 字の医家 明の

盛端用 字公深 字の医家 明の

盛時英 字公深 字の医家 明の

耳明尚恒 字公深 字の医家 明の

道大 字公深 字の医家 明の

七

七

七

六

スナクシノ 志小徳院 七十六代の帝後

文化九王 申年孟春

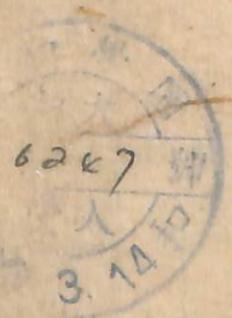
半日葉珊江

大坂書舗

河内屋兵衛

江戸書舗

須原屋伊八



浅草茅町二丁目

